

事務事業名		厚生住宅管理運営事業		会計	一般会計		実施区分		
H28担当課等名		福祉課		事業種別	経常	開始		終了	
H28係等名		生活福祉係		H27係等名		生活福祉係			
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
		施策	36	生活困難者の自立及び支援					
目的	対象(誰・何を)	厚生住宅入居者					指標名及び単位		27年度数値
	意図(どうい状態にするか)	生活困窮者に対し安定した生活を送るための住宅供給を行う					厚生住宅戸数(戸)		8
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	副指標	厚生住宅入居戸数/厚生住宅数(%)			75	75	75	75	
	成果指標	住宅困窮者が厚生住宅を必要とした時に入居できる			100	100	100	100	
	定性目標								
事業概要	市営住宅の一部であり、主に生活困窮者に対する自立のための一時的な住宅として福祉課が管理し、住居を供給している。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 厚生住宅の維持管理(社会福祉一般事務に計上) 2 緊急用として最低1戸確保(できれば男性用、女性用と2戸確保) 3 平成28年度より、長野県住宅供給公社へ管理委託する				1 維持管理戸数 2 入居戸数		1 8戸 2 6戸		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		139	23	23	201	(そ)厚生住宅使用料 23千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		139	23	23	201				
一般財源									
人件費計(千円)②		358		358					
正規職員所要時間		100		100					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		497	23	381	201				
事業内容・目標達成状況の振り返り	必要戸数を確保しつつ、入居者に対し住宅が提供できた。								
改革改善の考え方	①問題点	建物が老朽化しており、維持費の増加が懸念される。また、維持していくかどうかの検討も必要管理委託により、サービスの低下とならないように、長野県住宅供給公社との連携保持							
	②改革提案	施設の老朽化が進んでおり、施設保有の必要性も含め、施設のあり方について検討する長野県住宅供給公社との連携保持に努める							